

## 「市長と語ろう！」意見交換会（タウンミーティング）：【対象者別】子育て世代【概要】

令和2年10月17日（土）

13時30分～14時30分

場所 子ども未来センター くるりん子育てひろば

### 1 開会の挨拶

（市長）

市長の清水でございます。今日は皆さんに子育て政策の中身につきまして、あるいは、私どもが、今進めております子育て対策の不満な部分と言いましょうか、手を貸してほしい、支えてほしいということがございましたら、どうぞ遠慮なく申し出いただきたいと思っていますところでございます。

立川市におきましては、長年の課題であった保育園の待機児童ですが、毎年毎年数十人、多いときには100人を超す子どもたちの行き場がないという時代もあったわけでございます。今年度からはおかげさまで、待機児童が実質的にゼロということになっておりまして、大変、保護者の皆さん方にもご理解をいただいているところでございます。ただ、実質的にゼロになっても、少し預ける場所が遠いとか、通勤の関係で駅のほうから反対のほうへ行ってしまったとか、こんな話もあるわけです。ぜひ担当者に早めにご相談いただいて、安心して安全な施設の中で子どもたちが生活できますように私どもも努力してまいりますので、よろしく願いいたします。

今日は限られた時間でございますけれども、日頃から考えていらっしゃること、あるいは、将来に向けて取り組んでもらいたいことがございましたら、ぜひ参考までにお聞かせをいただきたいと思うところでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 2 意見交換

（参加者）

いつもここにはお邪魔させてもらっています。ちょっと前に、普段子ども未来センターに遊びに来るときなんかもうそんなですけども、西国立駅の周辺はもう路上喫煙はできないエリアということになっていると思うんですけども、やっぱり、喫煙されている方がまだいらして。ちょっと私のほうでもいろいろ見ていったら、ほかの市町村などでは、実際、罰則も設けられていて、去年の4月1日から飲食店なんかでも喫煙が原則屋内では禁止になりました。子どもはやっぱり煙から逃げられない。そのところは、財政の話もあるんだと思うんですけども、もう一步進めていただくいい機会なんじゃないかなというふうに思います。もちろん、吸われる方の権利もあるんだと思うんですけども、やっぱり子どもは逃げられないということもあるので、吸う場所を別に確保していただくということと共に進めるしかないんじゃないのかな。その辺り、市長のご意見をお伺いできればと思います。

（市長）

喫煙の関係ですが、長いことどういうキャンペーンをやっても路上喫煙がなくなりませんでした。やむを得ず、市として喫煙所を設置するということで、9月議会で予算を認められました。南口と北口に合わせて2か所をつくることになりました。10人ぐらい入

れるプレハブのような建物を駅前につくります。南口はデッキの下ですね。それから北口は、バスロータリーのところに1か所ですね。今年度中には利用が始められるように業務を進めます。設置が始まって良くない点があれば、それを参考にしてまた考えてまいりたいと、そんな考えの中でスタートさせていただく予定になっております。

(参加者)

ありがとうございます。西国立の駅というのが結構、実は穴場というか、思ったより住居も近接していたり、一方で、吸われる方は吸われる方で、結構気にされずに吸っちゃうという、大きな駅の間中と言ったらあれですけども、そういうところもあると思います。西国立の駅の周辺も、これからどんどん再開発もするという面もあると思うんですけど、併せてぜひ、それをつくっていただいて、そこ以外は禁止というやり方ができないかなということ、考えていただきたいなと思います。

(市長)

今、西国立の話が出ましたけれども、立川駅の喫煙所の運用を見ながら、その先のことは結論を出してまいりたいと思うので、よろしく願いいたします。

(参加者)

幸町に住んでいます。今、2歳の子どもがいるんですけど、今年度の4月の認可保育園の入園で入れなくて、今、認証保育園に通っています。認証保育園とかも含めた待機児童がゼロということですか。待機児童ゼロの概念がちょっとよく分からなくて、本当に待っている人はゼロなんですか。

(市長)

最初の募集の時点ではゼロということをお記憶しております。

(参加者)

全員入れたということですか。

(保育課長)

待機児童のカウントの仕方というのが、認証とか認可外も含めてカウントするということが、国の決まりで、どこかに入れているところがある場合には待機児童とカウントしないというような形になってしまいます。転園希望されるか認証にそのまま入り続けるかということ、今度の4月に検討されていらっしゃると思うのですが、それを3歳以降、お申し込みいただければと思います。

(参加者)

2歳児までの認可保育園ってあるじゃないですか。それから3歳児はほかのところに転園に優先的になるじゃないですか。認証保育園は2歳児まで行けるんですけど、3歳児からは認可に入るか、もしくは幼稚園なんですけど、認可の2歳児までのところが優先なので、すごく認可保育園に入りにくいので、そういうところも考えてもらえたらなと思います。

(保育課長)

認証保育園も2歳までのところと、上まで年齢があるところと、いろいろなところがあるかとは思いますが、3歳の枠については、ちょうど0歳と1歳と2歳が、今、1～2歳児が一番詰まっているのですが、そこで3歳になると、保育士1人当たりが見られる子

どもの数というのが少し増えてくるので枠としては多めにあるのです。ただ1～2歳児の待機児童の対応のための枠を増やしてきたために、そこで3歳が次の入園が厳しい年齢になってしまっているのは事実です。ただ、何か所か選んでいただいて、入れるようになると思います。確約ができないところが難しいのですけれども、また第1希望に入れるかどうかというのはあるかと思います。

(参加者)

令和3年度の認可保育園の3歳児クラスの募集人数も見たんですけど、そんなに多いようには思えなくて、入れそうにない。両親フルタイムで働いてマックスの点数、40点ももらえる予定ではいるんですけど、それでもやっぱり認可で2歳までの子が優先なので、入れるのかなという疑問があります。

(保育課長)

そのほかの要件で40点以上になっている点数の方もどうしても出てきますが、40点だどだいぶいい方ではないかなと、3歳児では、そういうふうに思います。

(参加者)

実際に子育てをしているほうからするとそうでもないですということを、ぜひ検討していただけたらと思います。

(参加者)

こんにちは。錦町に住んでいます。よろしくお願ひします。

まさに今、保育園を探し始めていて、私は今、失業中なので、点数的には低くなってしまふんだなと、資料を見て勉強中ではあるんですけど、確かに募集人数を拝見させていただいて、1歳児のところ、結構人数が少ないなと感じていまして、すごい今、不安を感じています。

それで、待機児童ゼロを目指してというふうにおっしゃられたと思うんですけど、具体的にやっていることって、ちょっと勉強不足で申し訳ないんですけど、教えていただけたらすごく参考になるかなと思ってお話しさせていただきました。

(保育課長)

いつとき、すごく待機児童が多いときから何か所も保育園を建設したりですとか、公立保育園を民営化して建て替えることで、定員の拡大をする中で入れる数を最大限増やしてきています。

ただ、どうしても先ほどおっしゃっていたようなフルタイムで働いている人は、割と入りやすいのですが、求職中ということだと、点数が低くなってしまいます。求職中で1歳児・2歳児入所というとなかなかご希望を叶えることは難しいという現状があります。まず申込みをしていただいて、入園決定会議を毎月やっていますので、途中入園のお申込みをしていただいて、そこで転出した方がいたりだとか、空きが出た場合に順次繰り上がって入っていただくという形でお待ちいただくということになります。

(参加者)

錦町に住んでいます。よろしくお願ひいたします。

質問が2点ほどあるんですけども、現在、この子を預けて働いているんですけども、病気になったとき、病児保育があるのが、南の子ども診療所のところになるんですけど

も、やはり受け入れ人数が限られている。あと、費用がちょっと高いということがありまして、市役所のほうで運営する、そういう病児保育が今後、できる予定はあるんですかというのが1点。

あと、この子は第1子目なんですけれども、市のほうでは第2子、第3子目となると、補助というか、別の市町村ですと、おむつ代の補助、ミルク代の補助が出ているところも聞いたことがあるんですけれども、今後そういう案のほうは、立川市はあるのかなという質問になります。よろしくお願いします。

**(保育課長)**

まず、病児保育なのですが、南と北の「ばおばお」と「ぼけっと」は、市からたくさん補助を出す中で運営をしていて、それと受益者負担ということで、保護者から一部費用を払っていただくことで運営をしています。病院だけで運営しているというようなものではなくて、看護師さんと、病気の勉強をした保育士たちを常に確保しているための費用というのは、税金を投入してやらせていただいているというところでございます。

**(子育て推進課長)**

第2子、第3子へのいろいろな補助、給付関係なのですが、現在、市で第2子、第3子といった、子どもの多い家庭に、手当をするようなところはございません。ただ、国のほうの児童手当については、第3子目以降は15,000円が補助、通常3歳までのところを15,000円が継続して支給されるというところはあります。以上です。

**(参加者)**

すいません、市の交通関係の質問です。

1つは、よく言われている南武線の立体化というのは今、どんな感じなのかなということも、もし最新のお話があれば教えてほしいなと思います。

あと、もう1つは、市内をあちこち移動するときに、いろいろなバス路線が立川駅を中心にすぎているかなという部分をちょっと感じています。まだ引っ越して1年たつちょっと前ぐらいなんですけど、どう言ったらいいんですかね、市を取り囲むような路線があってもいいのかなと。形が真四角な市じゃないので、例えば昭島なんかと共同で走って、例えば東中神とか中神のほうを抜けて、そのまま上に進んで、ぐるっと回るような。市内の交流みたいなものに使えるような路線があってもいいのかなと。

ただ、多分、空白地域を埋めよう、埋めようという形でいろいろ動かれているのだと思うんですけど、市内全体をこう、市内の端の部分にお互いに行こうとすると、今は結局車というふうになってしまいます。バスで駅に1回出て、もう1回バス乗ってという形になるので、その辺り、違う路線をやると、立川駅に一極集中しないことができるのかなと思ったりしたので、何かお考えになっているのかなと、参考に聞かせていただきたいです。

**(市長)**

南武線の連続立体交差化というのは、もう始まっています。目には見えてこないのですが、今、進行しています。ただ、先に川崎方面から来るといってお話を聞いておまして、立川駅のほうは時間としてはまだきれいに見えるまでには4～5年、もうちょっとかかるかもしれない。そのような情報しか私どもでは持ってありません。

**(企画政策課長)**

少し、市内の交通の関係で述べさせていただきます。

恐らく、皆さんの身近な足として、路線バスやコミュニティバスのくるりんバスが走っていますけども、日頃から様々ご要望をいただいております。

まず、路線バスにつきましては、非常に採算が悪いのです。どこの事業者もそうだと思いますが、やはり採算性が問題で、多くのルートが縮小されています。その中で、本市のくるりんバスが、どう関わるのかというのを議論していきまして、結局、コミュニティバスが便利になりすぎると、路線バスのお客さんを奪ってしまうと。一方で路線バスは採算性のいい、例えば近隣の市から立川駅に乗り入れるような輸送力のある路線が中心になっています。その分、くるりんバスは、市内には西武鉄道などたくさんの駅がありますから、路線バスが乗り入れないような身近な駅にまず接続すると。お客さんには駅間を電車やモノレールで移動していただくといったネットワークになっています。

以前、くるりんバスは北ルート、南ルートとあって、大きなルートを描いておりました、いずれも立川駅に到達するというルートだったのですが、これは路線バスとの競合が問題になり、先ほど説明した役割分担に見直したわけです。昔を知っている方からすれば、前に戻してほしいといったご意見も多々いただきますけれども、やはり、公共交通を維持するといったところでは、皆さん、鉄道、モノレールを含めた、各駅から公共交通を利用してください、それから、路線バスとコミュニティバスの役割についてもご理解くださいと、そのような考えで進めております。以上です。

### 3 閉会の挨拶

#### (市長)

どうも皆さん、ご協力をありがとうございました。今日は、たまたま雨で、足元が悪いので、こちらに来る方も、去年の半分ぐらいの感じがしています。いずれにしましても、これから、立川のまちを育てていくためには、何ととっても、まずは命の問題です。命を大切にできるような社会づくりをしていかなければならない。

それから、弱い人たちへの、高齢者でありますとか、乳幼児、こういう人たちをしっかりと社会全体で守っていけるように、こんな施策を展開して初めて地域の平和、地域の繁栄もできてくるのではないかな、こんな思いで今後も行政をリードしてまいりたいと考えております。

ぜひまた、市への苦情のポストも用意してございますので、何かありましたら遠慮なく手紙で結構ですから、出していただければ対応させていただきますので、よろしく願いいたします。

では、今日は大変なところ、皆さん方にご協力いただきまして、ありがとうございました。